



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	23,836	3.6	502	—	507	—	△220	—
26年12月期第3四半期	23,011	4.9	△665	—	△683	—	△938	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △171百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △865百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△13.01	—
26年12月期第3四半期	△55.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	28,088	16,783	57.3	947.34
26年12月期	26,515	17,771	64.6	1,008.94

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 16,089百万円 26年12月期 17,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年12月期	—	0.00	—		
27年12月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	2.0	4,550	15.8	4,500	15.8	2,150	22.8	126.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	17,185,650 株	26年12月期	17,185,650 株
27年12月期3Q	201,258 株	26年12月期	201,258 株
27年12月期3Q	16,984,392 株	26年12月期3Q	17,006,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出産業を中心とした企業業績の回復や、円安を契機とした訪日外国人観光客の増加によりインバウンド需要が消費を引き上げております。しかしながら、円安を要因とした輸入原材料価格の高騰による物価上昇の影響を受けた個人消費の足踏み状態、並びに中国経済の減速や欧州経済の停滞などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,836百万円（前年同期比3.6%の増加）、営業利益は502百万円（前年同期は665百万円の営業損失）、経常利益は507百万円（前年同期は683百万円の経常損失）、四半期純損失は220百万円（前年同期は938百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、昨年同様、「早撮り七五三キャンペーン」並びに、「七五三お出かけ着物レンタル」施策の実施で件数獲得を図りました。当年度は、リピーターの方向けの七五三ダイレクトメール特典商品として、「My Historyフォト」を新規導入いたしました。この商品は、過去に当社で撮影された画像と、今回の七五三で撮影された画像を1枚の写真にまとめたもので、これまでたくさんのお子様のお顔を撮ってきた当社ならではの商品としてご好評をいただいております。そのほか、昨年に引き続き、7月中旬から8月にかけて、雑誌「ちゃお」とのコラボレーション企画である「ちゃおモデル体験撮影会」や、8月に「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」並びに、「ディズニーキャラクター撮影キャンペーン」を実施し、件数獲得に努めました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転5店舗を含み16店舗出店、退店4店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を167店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館481店舗（直営店舗471店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館3店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館3店舗、台湾の合弁会社における子ども写真館5店舗を含め、493店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は23,732百万円（前年同期比3.9%の増加）、セグメント利益は442百万円（前年同期は665百万円のセグメント損失）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、引き続き、当社向け衣装の生産コストの低減を図るため、生産工数の効率化向上に取り組みました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,405百万円（前年同期比11.7%の減少）、セグメント利益は229百万円（前年同期比1.6%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,572百万円増加し28,088百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少及び受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ87百万円増加の10,905百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ1,485百万円増加の17,183百万円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,561百万円増加し11,305百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ2,317百万円増加の9,013百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及びその他に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ244百万円増加の2,292百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ988百万円減少し16,783百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成27年2月10日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が82,688千円増加し、利益剰余金が53,251千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,502千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,011,439	5,775,826
受取手形及び売掛金	821,001	1,209,723
たな卸資産	1,319,338	1,353,904
その他	1,703,122	2,602,646
貸倒引当金	△37,120	△37,010
流動資産合計	10,817,782	10,905,091
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,100,547	8,179,718
その他(純額)	3,353,155	3,571,297
有形固定資産合計	10,453,703	11,751,015
無形固定資産	1,113,297	1,201,954
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,121,738	3,278,482
その他	1,183,635	1,154,662
貸倒引当金	△174,835	△202,935
投資その他の資産合計	4,130,538	4,230,209
固定資産合計	15,697,538	17,183,178
資産合計	26,515,321	28,088,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,123	256,255
短期借入金	800,000	3,600,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	-
未払法人税等	1,140,738	56,952
賞与引当金	79,460	356,596
その他	4,336,560	4,743,313
流動負債合計	6,695,884	9,013,118
固定負債		
退職給付に係る負債	665,140	817,533
資産除去債務	913,459	937,653
その他	469,032	536,903
固定負債合計	2,047,632	2,292,090
負債合計	8,743,517	11,305,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	13,313,040	12,274,529
自己株式	△275,592	△275,592
株主資本合計	16,978,846	15,940,336
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	157,381	149,576
その他の包括利益累計額合計	157,381	149,576
少数株主持分	635,575	693,147
純資産合計	17,771,803	16,783,060
負債純資産合計	26,515,321	28,088,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,011,909	23,836,809
売上原価	18,317,355	18,326,986
売上総利益	4,694,553	5,509,822
販売費及び一般管理費	5,360,346	5,007,067
営業利益又は営業損失(△)	△665,792	502,755
営業外収益		
受取利息	2,538	2,163
受取家賃	19,432	19,122
受取補償金	—	23,980
為替差益	14,379	—
雑収入	23,381	26,682
営業外収益合計	59,732	71,948
営業外費用		
支払利息	15,290	11,866
店舗解約損	35,469	1,316
貸倒引当金繰入額	20,000	29,000
為替差損	—	14,096
雑損失	6,599	11,083
営業外費用合計	77,359	67,362
経常利益又は経常損失(△)	△683,419	507,341
特別損失		
固定資産売却損	—	8,156
固定資産廃棄損	236,628	310,019
減損損失	263,359	96,406
関係会社株式評価損	2,033	—
特別損失合計	502,021	414,582
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,185,441	92,758
法人税、住民税及び事業税	492,582	479,828
法人税等調整額	△805,163	△223,680
法人税等合計	△312,580	256,147
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872,860	△163,389
少数株主利益	65,527	57,571
四半期純損失(△)	△938,388	△220,961

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872,860	△163,389
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,319	△7,804
その他の包括利益合計	7,319	△7,804
四半期包括利益	△865,540	△171,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△931,068	△228,765
少数株主に係る四半期包括利益	65,527	57,571

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,842,362	169,547	23,011,909	—	23,011,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,380	1,421,421	1,428,802	△1,428,802	—
計	22,849,742	1,590,968	24,440,711	△1,428,802	23,011,909
セグメント利益又は 損失(△)	△665,267	233,154	△432,112	△233,680	△665,792

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額△233,680千円には、固定資産の調整額等△70,692千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△162,987千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては263,359千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,726,781	110,027	23,836,809	—	23,836,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,422	1,295,379	1,300,802	△1,300,802	—
計	23,732,204	1,405,407	25,137,611	△1,300,802	23,836,809
セグメント利益	442,943	229,310	672,254	△169,499	502,755

(注) 1. セグメント利益調整額△169,499千円には、固定資産の調整額等△11,244千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△158,255千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及び遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては96,406千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。